

Surf Carnival

第31回全日本ライフセービング種目別選手権大会

チーム参加募集要項

種目別

チーム1次要項

第31回全日本ライフセービング種目別選手権大会
実行委員会

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、下記の通り「第31回全日本ライフセービング種目別選手権大会」を開催いたします。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

敬具

- 名称 サーフ カーニバル 第31回全日本ライフセービング種目別選手権大会
- 日程 2018年6月2日(土)・6月3日(日)
- 場所 静波海岸(静岡県)
- 主催 日本ライフセービング協会
- 後援(予定) 国土交通省、海上保安庁、静岡県、静岡県教育委員会、牧之原市、牧之原市教育委員会
- 協力(予定) 御前崎海上保安署、牧之原市観光協会、有限会社吉田三郎商店、
日本ライフセービング協会中部支部、認定NPO法人静岡県ライフセービング協会、
榛原ライフセービングクラブ、相良サーフライフセービングクラブ

■競技種目

●個人種目

- 01 サーフレース(女)
- 02 サーフレース(男)
- 03 サーフスキーレース(女)
- 04 サーフスキーレース(男)
- 05 ボードレース(女)
- 06 ボードレース(男)
- 07 オーシャンウーマン
- 08 オーシャンマン
- 09 ビーチフラッグス(女)
- 10 ビーチフラッグス(男)
- 11 ビーチスプリント(女)
- 12 ビーチスプリント(男)
- 13 2kmビーチラン(女)
- 14 2kmビーチラン(男)

※登録種目数は1人2種目までとします。3種目以上出場する場合は追加費用をお支払いいただきます。

■競技規則

競技規則 2016年版に則って実施します。

■海外選手

日本国以外に国籍を持つ者(日本国永住者は除く)、また、日本国に住民票登録のない日本国籍を持つ者の出場登録について以下の条件を満たす海外選手は日本国内クラブの一員として出場登録を認めます。満たさない場合でもオープン参加は可能ですので、別紙「オープン参加規定」をご参照ください。

- (1) 大会参加規程に準じていること
- (2) ILSに加盟している出身国代表組織の承認書を提出すること
- (3) 国内出場クラブ長の承諾書を提出すること

※原則として、(2)(3)の書類提出期限は、エントリー締切日までとします

■表彰

各競技上位1～8位を入賞とします。また、1～3位はメダルを授与し表彰式で表彰します。なお、総合の表彰はございません。

■タイムテーブル（大枠予定）

別紙「参考タイムテーブル」を参照してください。

※天候や漁の関係で変更することがあります。

※詳細確定版は、エントリー締切・集計後にご案内致します。

■代表者会議及び出場確認

競技進行や競技上の注意事項について説明する代表者会議及び出場確認を **6月2日（土）9時30分** から開催予定です。詳細につきましては後日チーム代表者宛に2次要項にてご連絡いたします。

■参加費 ※デジエントリーより指定される方法により振込

①選手1名につき、8,000円（※高校生は4,000円）。

個人種目のエントリーは、選手1名につき2種目までとします。

3種目以上参加する場合は3種目から1種目につき1,000円の追加参加費をいただきます。

例：2種目参加の場合＝8,000円

3種目参加の場合＝8,000円＋1,000円＝9,000円

高校生2種目参加の場合＝4,000円

高校生3種目参加の場合＝4,000円＋1,000円＝5,000円

※参加費は、デジエントリーから指定される期限までにお支払い下さい。なお、参加費とは別に、デジエントリーの手数料が別途発生いたします。

※参加申し込み締め切り後の出場登録の取り消し、天候その他の理由により、やむを得ず中止になった場合でも参加費は返還されません。

※参加選手が欠場、あるいは失格となった場合でも参加費は返還されません。

② 本大会は、申込締切後であっても、**エントリーミスによる出場種目の変更は受付いたしませんのでご注意ください**。また、エントリーミスにより大会に出場できない場合にも、返金は致しませんので、エントリー作業はお間違えのないように十分ご注意ください。

■申込方法

下記①・②の手続きをもって受付とします。どちらか一方だけでは受付いたしません。

送信の前にご確認の上、記入漏れ・記入ミスのないように十分ご注意ください。2次要項のご案内およびその他ご連絡は、メールまたは郵送にて通知いたしますので、**迷惑メール対策をされている方は、デジエントリーからのメールが受信できるように設定をお願いいたします**。2次要項はJLAホームページでも掲載いたします。

※各種締切日は次ページ参照ください

① チーム登録

チーム責任者/担当者のご登録をお願いいたします。JLA ホームページより、「チーム登録」をダウンロードし、必要事項をご記入の上、期日までに下記メールアドレスへデータ提出ください。

なお、同様式にて「チーム選出審判員」の情報も提出ください。

●送信先→compe@jla.gr.jp

・ファイル名：チーム名（LSCなどは省略）にて保存

・件名：「チーム名」と「チーム登録」をご記載ください。

② 個人種目登録

個人種目のエントリーは、「デジエントリー」を利用してお申込みください。

なお、デジエントリーには「グループエントリー」の機能がありますのでこちらもご利用可能です。

●デジエントリー→<http://dgent.jp/>

「デジエントリー」→「ライフセービング」と進み、本競技会を選択し、エントリー手続きをお進めください。

■認定審判員の選出について（本大会に選手登録をしていない方）

他の公式競技会と同様に、各チームの参加人数に応じた認定審判員の選出をお願いいたします。大会日程が延び、参加人数も増加してきているため、大会運営を円滑にするための導入措置となります。ご理解とご協力のほどお願いいたします。詳細は、大会参加規定「7 認定審判員の選出」をご確認ください。

■宿泊について

各チームの宿泊については、直接旅館等にご予約をお願いいたします。

牧之原市観光協会ホームページ等をご参照ください。

http://www.makinoharashi-kankoukyoukai.com/contents/stay/stay_index.html

■アンチ・ドーピング委員会より

今年度、全日本プール競技選手権よりドーピング検査が導入されました。自信を持って競技に臨めるように、この講義で今後どのようなことを各個人・各クラブで気をつけていくべきか確認していただきます。

日 時：6月2日（土）大会1日目

時 間：18時30分～19時30分

会 場：静波コミュニティ防災センター

〒421-0422 牧之原市静波 2130-5

<http://www.city.makinohara.shizuoka.jp/bg/map/ent/3134.html>

テーマ：「ライフセービング競技におけるドーピング検査と対策について」

講師 JLA アンチ・ドーピング委員会 小西由紀

主 催：スポーツ推進本部 アンチ・ドーピング委員会

■その他

各種目で入賞された選手で、競技成績証明証が必要な方は JLA ホームページ「ライフセービングスポーツ」→申請→競技成績証明書」を出力し、JLA 事務局までご提出ください。発行申請は該当競技会より1年以内の期間で受付をいたします。

http://jla.gr.jp/lifesaving_sports/rule.html

■提出物と締切のまとめ

提出方法提出書類等の概要		提出方法	提出期限(締切)
書類関係	①選手登録	デジエントリー http://dgent.jp/	2018年5月7日(月)23:59 受信分まで
	②チーム登録	データ提出(メール) ※様式ダウンロード; JLA ホームページより	2018年5月7日(月)23:59 受信分まで
	③審判員・スタッフ申込	デジエントリー http://dgent.jp/	2018年5月7日(月)23:59 受信分まで
費用関係	④大会参加費の振込	①選手登録時に、デジエントリーから	デジエントリーから指定される期限内
	⑤会員登録及び個人(一般会員/高校生会員/正会員)年会費(2018年度) ※審判員も同様	http://www.jla.gr.jp/home.htm 「会員になるには」をご参照の上、手続き下さい	2018年5月7日(月)までに振込完了
	⑥団体年会費(2018年度)		

注)

- ※締切りを過ぎたものや書類の不備、上記の提出書類が揃っていない場合は、受け付けませんので、ご了承ください。
- ※参加規程を満たしていない場合、参加費の未納等により、大会参加を受け付けない場合がありますのでご注意ください。
- ※参加申し込み締切り日までに、会員登録および会費納入の手続きをされていない団体・個人会員の方(審判員も含む)は、本大会に出場できませんので、予めご了承ください。
- ※参加申し込み締切り日までに、参加規程「11 認定審判員の選出」に基づく、認定審判員の書類提出がない団体は、本大会に出場できませんので、予めご了承ください。

■お申込み・お問い合わせ先

日本ライフセービング協会事務局（業務時間：平日 9：00-18：00）

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-1-18 トップスビル 1階 TEL：03-3459-1445 FAX：03-3459-1446

Surf Carnival

第 31 回全日本ライフセービング種目別選手権大会 大会参加規程

1 参加資格

選手の参加資格は下記の 4 点を共に満たしている者、若しくは本協会が特別に参加を認めた者でなければならない。

- 1-1 選手は、大会初日当日満 15 歳以上でなければならない。但し中学生を除く。
- 1-2 選手は、ライフセービングを志し、出場する競技会の過去 1 年以内に海岸やプール等水辺での監視・救助活動、協会が認める教育活動に 25 時間以上従事した者でなければならない。
- 1-3 選手は、本協会の個人正会員、個人一般会員、若しくは個人一般高校生会員として登録されていなければならない（申請中も含む）。※申込締切期日までに、必ず年会費をお振込下さい。
- 1-4 選手（一般）は、ベーシック以上の資格を、高校生は BLS および WS 以上の資格を、所有していることを推奨する。

2 チーム構成

- 2-1 チームは、本協会の団体正会員、若しくは団体一般会員として登録され、本協会に登録されている団体名で出場しなければならない。また、1 団体からの出場は 1 チームとする。
- 2-2 チームは、同じクラブに所属する選手により構成されていなければならない。

3 出場登録

- 3-1 選手は、デジエントリーより、出場種目の登録をしなければならない。

4 チーム代表者

各参加チームはチームを代表する者としてチーム代表者を 1 名おかななければならない。なお、チーム代表者と選手はこれを兼任することができる。また、代表者会議（代理可）に参加しなければならない。なお、やむを得ずチーム代表者が出席できない場合は、チーム代表者の責任において参加選手の中で代表者に準ずる者が出席すること。

5 チームユニフォーム及び競技中の衣類

- 5-1 各チームは、式典や表彰式および競技に適したユニフォーム、水着、キャップを持たなければならない。ラッシュガードは、主催団体から特別な指示がない限り競技中、任意に着用することができる。
- 5-2 ユニフォーム、水着、キャップの性質、デザインが一般良識に反すると主催団体が判断した場合は、いかなる選手も競技に参加することができない。
- 5-3 キャップは、競技会の申込締切（2018 年 5 月 7 日）前までに本協会に登録されていなければならない。
- 5-4 キャップは、チーム全員が同様の色とパターンでなければならない。オーシャン用とプール用で色やパターンが異なる場合、併用できない。キャップは、選手の識別や判定のために重要であるため、スタート前に 2 本の紐をあごの下で結んで選手の頭に着用しなければならない。スタートの後に、キャップがとれたり、失ったりした場合、違反なしに競技が終了できていれば失格とはならない。
- 5-5 チームのユニフォーム、水着、キャップ、ラッシュベストに競技会のスポンサーと対立するような商標、商標名があると主催団体が判断した場合、その対応は主催団体の指示に従わなければならない。
- 5-6 公式競技会におけるオーシャン競技・サーフ種目ではラッシュベストを着用しなければならない。ラッシュベストの着用なしでの参加は認められない。

6 競技器材

- 6-1 競技に使用する器材は参加選手が用意するものとする。
- 6-2 競技で使用する器材は、「競技規則（2016 年版）」の「器材の規格」の基準を満たさなければならない。
- 6-3 主催団体は、選手の競技器材の検査・再検査を競技前、競技中、競技終了後任意に行うことができる。競技器材が基準を満たしていない場合は、その選手はその器材を使用できないか、または失格となる。

7 認定審判員の選出 (本大会に選手登録をしていない方)

- 7-1 参加チームは下記のとおり、認定審判員を選出しなければならない
選手 5～10 名=1 名、同 11～20 名=2 名、同 21～40 名=3 名、同 41 名以上=4 名。ただし、何かの理由で審判員が参加できなくなった場合は、必ず代替りの者を選出すること。
- 7-2 参加する審判員の方は、デジエントリーにより審判員・スタッフ参加申し込みを行うこと。
- 7-3 選出する審判員は、C 級認定審判員資格以上を取得し、選手として登録していないこと。
※申込締切期日までに、必ず審判員資格を取得していること。
※申込締切期日までに、必ず年会費をお振込下さい。
- 7-4 選出する審判員は 2 日間を通じて参加できること。
- 7-5 審判員業務全般が支障なく遂行できること。
- 7-6 審判員参加に関わる交通費 (上限 5,000 円)、宿泊費、朝食、昼食は別紙「審判員・スタッフ募集要項」に基づき主催者が負担する。(準一般会員の方には宿泊の準備・交通費の支給はございません) なお、2 日間を通じて審判員を選出できないとき (やむを得ず参加日ごとに審判員が入れかわる場合) は、主催者は距離が近い方の 1 名分の交通費 (上限¥5,000 円) のみを支給する。
- 7-7 選出する審判員は、BLS 以上の資格を所有していることを推奨する。

8 その他

- 8-1 大会中に大会主催者および大会主催者が認めた者が撮影した写真、映像をライフセービングの広報の目的で使用することがある。
- 8-2 大会中に大会主催者が撮影を制限したり、拒否したりすることがある。なお、撮影された記録の提出を求める場合がある。
- 8-3 大会主催者への提出書類の記載事項に虚偽が認められた場合、大会への参加や記録が取り消される可能性がある。

(以上)